

(1) 「がんばる道場」について

毎日の家庭学習の習慣をつけておくことは学力向上に必須です。ところが、普段の塾や学校の宿題をおろそかにはしていませんか？宿題を決められた期限までに仕上げるということは基本中の基本、当たり前のことなのですが、この当たり前のことを確実にこなすということが人間はなかなかできません。ついテレビを見たり、ゲームをやってしまったり、スマホを夜更けまでいじってしまったり…。その結果、宿題をこなしていないということが繰り返されると、学力はどんどん低下してしまいます。病気にたとえると、塾は病院です。授業やテストを受けて、どこで自分がつまづいているのかを理解し、適切な指導を受けることができます。ですが、それだけで病気は治るものでしょうか？皆さんも、病院に行ったら薬をもらいますよね？その薬を、毎日決められた時間に、決められた量を飲んだり塗ったりすると思います。もし、病院に行くだけで、薬を使わなかったら、病気は治りませんか？この、薬にあたるものが宿題なのです。勉強ができるようになりたい皆さんが、宿題をやらないということは、薬を飲まずに病気を治そうとするのと同じことです。

以上のことから、スクール21川越教室では、宿題をしっかりこなすことを非常に重要視しております。毎日の授業で子供たちに宿題の重要性を話し、「宿題のやり方」も、いつ、何を、どのようにやるかを一律に決めさせていただいております。教室にはそれを示したポスターも掲示し、徹底しているのです。しかし、どうしても宿題をこなせないという生徒さんも中にはいます。そういった生徒さんには、以下にお話する「がんばる道場」が用意されています。

「がんばる道場」とは、宿題を忘れて、英単語・漢字テストで不合格だったりした生徒さんを対象に、授業終了後におこなう補習システムです。中3は21:35からの最大25分間、中2・中1は21:15からの最大45分間で行われます。宿題を忘れた場合は、担当の先生と一緒に、問題を丁寧に解いていきます。また、英単語や漢字は、たとえ勉強をしてきたとしても、合格点に満たない場合は「がんばる道場」の対象となります。このような確認テストは、「宿題をこなした」だけでは意味がありません。翌週のテスト範囲を宣言して宿題にしているわけですから、「覚えきることが宿題」なのです。したがって、覚えきれていなければ「宿題演習が不十分」と判断しております。

この「がんばる道場」によって、多くの生徒さんが、入塾当初に比べて確実に宿題をこなすようになってきています。また、その結果、定期テスト等でも手ごたえを感じてきてくれているようです。このように、「がんばる道場」は学力向上のきっかけとなる重要な仕組みです。ただ、忘れてはいけないのは、「がんばる道場に残されることがなくなる」ことが一番大切なことなのです。